

## 令和5年度第2学期 臨時全校集会 校長講話

本日は2つ話をします。

一つめですが、夏休み中の8月20日（日）に「大淀川クリーン大作戦」というイベントがありました。神柱公園から年見川堤防沿いの草刈りやゴミ拾い等がその内容でした。とても暑い中でしたが、都城市長さんや都城市議会議長さんをはじめ、たくさんの都城市民が参加されていました。本校からは、国際ボランティア同好会10名とサッカー部7名の他、自主的に参加してくれた生徒2名の合計23名が参加してくれました。

コロナ禍前は各高校からそれぞれ40名から50名が参加していたそうですが、4年ぶり開催の今年は、高校生の参加が少ない中、本校からの参加者が一番多くて、主催された方が喜んでくださいました。地元企業からも多数参加されていましたが、都城市は皆さんの大切なふるさとですから、このようなイベントがある時は積極的に参加してくれることを期待しています。

二つめは、自転車利用に関連することです。

2学期に入ってから登校中の事故が数件発生しました。中には入院した生徒もいます。先月、宮崎北高校のある生徒が、本人には全く過失がないのに車にはねられました。その高校生は意識不明のまましばらくの間入院していましたが、治療の甲斐無く息を引き取られました。もし、この時にヘルメットを着用していたら状況は変わっていたかもしれないと聞きました。

今、ヘルメット着用についてアンケートをとっていますが、自分の命を守るためにもヘルメット着用を考えてください。

それから残念なことに「本校生徒の自転車運転が危険だ。」という苦情が学校に届いています。特に登下校中の小学生の安全を脅かすことはあってはなりません。

自転車が道路交通法上の車両であることや、二列での走行、通行区分を守らない走行、スマホを持ったままの走行、音楽を聴きながらの走行をしていて人に危害を加えた場合は、重い刑罰が待っていることを知らないはずはありません。

地域の方から「自転車利用のマナーは都城農業高校が一番いい。」と言われるようになることは、小学生が安心して登校できる環境を守ることになりますし、全員参加の交通事故を減らす社会貢献活動とも言えます。

苦情を言って来られた方は、「都城農業高校がこんな学校のはずはない。」という思いがあると思います。そういう方々の期待に応えるよう、一人ひとりが交通マナーについて考えてください。今日の話は以上です。

1学期は、高校総体、農業クラブ県連大会、高校野球宮崎県大会に頑張ってくれました。今回は、宮崎県高等学校総合文化祭は文化部の皆さんが、日頃の活動の成果を他校と交流し、競い合う場になります。自分自身だけで、ひたすら技術や精神を鍛えることも大切ですが、他校と競い合うことで自分の力量を伸ばすという経験も、運動部や農業クラブと同じように大切なことです。

本校からは、高校総合文化祭に3つの部・同好会が参加するとともに、生徒会の皆さんが他校との交流を予定しています。皆さんの活動の成果をしっかりと披露するとともに、他校のよい点を学んでくることを期待しています。

本番までの残された期間、準備や練習を頑張ってください。

以上で、終わります。

令和5年9月13日  
宮崎県立都城農業高等学校  
校長 山下 勉